

- 58.かの女らはさながらルビーかサングのよう。
- 59.それであなたがたは、主の恩恵のどれを嘘と言うのか。
- 60.善いことへの報いは、善いことでなくて何であろう。
- 61.それであなたがたは、主の恩恵のどれを嘘と言うのか。
- 62.この2つの（樂園の）外に（更に）2つの樂園がある。
- 63.それであなたがたは、主の恩恵のどれを嘘と言うのか。
- 64.（水が豊かで）緑滴る園。
- 65.それであなたがたは、主の恩恵のどれを嘘と言うのか。
- 66.そこには2つの泉が湧き出ている。
- 67.それであなたがたは、主の恩恵のどれを嘘と言うのか。
- 68.そこには種々の果物、ナツメヤシもザクロもある。
- 69.それであなたがたは、主の恩恵のどれを嘘と言うのか。
- 70.そこには素晴らしく美しい乙女がいる。
- 71.それであなたがたは、主の恩恵のどれを嘘と言うのか。
- 72.美しい乙女は永遠の天幕に（引き籠る）。
- 73.それであなたがたは、主の恩恵のどれを嘘と言うのか。
- 74.人にもジンにも、これまで触れられていない。
- 75.それであなたがたは、主の恩恵のどれを嘘と言うのか。
- 76.緑の褥、美しい敷物に身を凭せて。
- 77.それであなたがたは、主の恩恵のどれを嘘と言うのか。
- 78.尊厳と栄誉に満ちた御方、あなたの主の御名に祝福あれ。

## SURA 56.出来事章〔アル・ワーキア〕1

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.（起るべき）出来事が起る時、
- 2.（誰も）その起るのを、嘘であるとしなくなる。
- 3.（或る者は）低く落され、（或る者は）高く挙げられよう。
- 4.その時、大地は大揺れに揺れる。
- 5.山々は碎けて崩れ、

- 6.粉粉になって飛散する。
- 7.その時あなたがたは、3つの組に分けられる。
- 8.まず右手の仲間（がいる）。右手の仲間とは何であろう。
- 9.また左手の仲間（がいる）。左手の仲間とは何であろう。
- 10.（信仰の）先頭に立つ者は、（樂園においても）先頭に立ち、
- 11.これらの者（先頭に立つ者）は、（アッラーの）側近にはべり、
- 12.至福の樂園の中に（住む）。
- 13.昔からの者が多数で、
- 14.後世の者は僅かである。
- 15.（かれらは錦の織物を）敷いた寝床の上に、
- 16.向い合ってそれに寄り掛かる。
- 17.永遠の（若さを保つ）少年たちがかれらの間を巡り、
- 18.（手に手に）高杯や（輝く）水差し、汲立の飲物盃（を捧げる）。
- 19.かれらは、それで後の障を残さず、泥酔することもない。
- 20.また果実は、かれらの選ぶに任せ、
- 21.種々の鳥の肉は、かれらの好・のまま。
- 22.大きい輝くまなごしの、美しい乙女は、
- 23.丁度秘蔵の真珠のよう。
- 24.（これらは）かれらの行いに対する報奨である。
- 25.そこでは、無益な言葉や、罪作りの話も聞くことはない。
- 26.只「平安あれ、平安あれ。」と言う（のを耳にする）だけである。
- 27.右手の仲間、右手の仲間とは何であろう。
- 28.（かれらは）刺のないスィドラの木、
- 29.悠々と実るタルフ木（の中に住・）、
- 30.長く伸びる木陰の、
- 31.絶え間なく流れる水の間で、
- 32.豊かな果物が
- 33.絶えることなく、禁じられることもなく（取り放題）。

- 34.高く上げられた（位階の）臥所に（着く）。
- 35.本当にわれは、かれら（の配偶として乙女）を特別に創り、
- 36.かの女らを（永遠に汚れない）処女にした。
- 37.愛しい、同じ年配の者。
- 38.（これらは）右手の仲間のためである。
- 39.昔の者が大勢いるが、
- 40.後世の者も多い。
- 41.左手の仲間、かれらは何であろう。
- 42.（かれらは）焼け焦がすような風と、煮え立つ湯の中、
- 43.黒煙の影に、
- 44.涼しくもなく、爽やかでもない（中にいる）。
- 45.かれらはそれ以前、裕福で（享樂に耽り）。
- 46.大罪を敢て犯していた。
- 47.そして何時も言っていた。「わたしたちは死んでから、土と骨になり、本当に甦されるのでしょうか。」
- 48.わたしたちの古い祖先も（甦されるの）ですか。」
- 49.言ってやるがいい。「そうだとも、昔の者も後世の者も。
- 50.必ず一緒に召集されるのである。定められた日の、定められた時に。」
- 51.その時あなたがたは（どうであろう）、迷って（真理を）虚偽であるとした者よ。
- 52.必ずあなたがたはザクームの木（の実）を食べ、
- 53.それで腹は一杯。
- 54.その上煮え立つ湯を飲む、
- 55.喉が乾いたラクダが飲むように。
- 56.これが審きの日、かれらの持て成しである。
- 57.われはあなたがたを創った。あなたがたはどうして真実を信じようとししないのか。
- 58.あなたがたは、あなたがたの射出するもの（精液）に就いて考えたか。
- 59.それを創ったのはあなたがたなのか、それともわれがその創造者であるのか。
- 60.われは、あなたがたに死（期）を定めた。われは、（決して）出し抜かれたりすることはない。

- 61.だがわれは同類の者で取り替え（世代の交替），またはあなたがたが知らない（他の形態の）ものに，あなたがたを創（り変え）る。
- 62.あなたがたは，確かに最初の創造を知っている。それでも何故留意しないのか。
- 63.あなたがたは，あなたがたが耕す（畑の）ことを考えたか。
- 64.あなたがたがそれ（植物）を育てるのか，それともわれが育てるのか。
- 65.もしわれが欲するならば，それを枯れた屑にしてしまう。あなたがたは驚愕して止まない。
- 66.（そして言うであろう。）「わたしたちは本当に負債を課せられた。
- 67.いや，わたしたちは（労働の成果を）取り上げられた。」
- 68.またあなたがたの飲む水に就いて考えたか。
- 69.あなたがたが雲から（雨を）降らせるのか，それともわれが降らせるのか。
- 70.われがもし欲するならば，それを塩辛くすることが出来る。あなたがたはどうして感謝しないのか。
- 71.あなたがたは，灯火に就いて考えたか。
- 72.その（燃やす）木を，あなたがたが創ったのか，それともわれが創ったのか。
- 73.われはそれを教訓とし，また荒野の住民の便利のために創った。
- 74.だから偉大であられるあなたの主の御名を讃えなさい。
- 75.わたしは，沈んでゆく星にかけて誓う。
- 76.それは本当に偉大な誓いである。もしあなたがたに分るならば，
- 77.本当にこれは，非常に尊いクルアーンである。
- 78.（それは）秘蔵の啓典の中に（書かれてあり），
- 79.清められた者の外，触れることが出来ない。
- 80.万有の主からの啓示である。
- 81.これは，あなたがたが軽んじるような教えであろうか。
- 82.またあなたがたは（それを）虚偽であると申し立て，あなたがたの暮らしを立てるのか。
- 83.それならあなたがたは，（臨終の人の魂が）喉もとを塞ぐ時，
- 84.（座って只）見守るばかりなのか。
- 85.われはあなたがたよりもかれに近いのである。だがあなたがたには見えはしない。
- 86.あなたがたがもし（来世の）報いを除外されているというのなら，あなたがたは何故，

- 87.その（魂）を（体内に）呼び戻さないのか。もしあなたがたが、真実（を語っているの）ならば。
- 88.もしかれば、（アッラー）に近付けられた者であるなら、
- 89.（かれに対する報奨は）安心と満悦、そして至福の樂園である。
- 90.もしかれば、右手の仲間であるならば、
- 91.「あなたに平安あれ。」と右手の仲間から（挨拶される）。
- 92.もしかれば、嘘付きで、迷った者であるならば、
- 93.煮え立つ湧の待遇を受け、
- 94.獄火で焼かれよう。
- 95.本当にこれは、揺ぎのない確かな真理である。
- 96.だから偉大であられるあなたの主の御名を讃えなさい。

## SURA 57.鉄章〔アル・ハディード〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.天にあり地にある凡てのものは、アッラーを讃えろ。本当にかれは偉力ならびなく英明であられる。
- 2.天と地の大権は、かれの有である。かれは生を授け、また死を授ける。かれは凡てに就いて全能であられる。
- 3.かれは最初の方で、また最後の方で、外に現われる方でありまた内巧なされる方である。かれは凡ての事物を熟知なされる。
- 4.かれこそは天地を6日の間に創造なされ、それから玉座に鎮座なされる方である。かれは地に入るもの、そこから出るもの、また天から下るもの、そこに上るものを知り尽される。あなたがたが何処にいようとも、かれはあなたがたと共にあられる。アッラーはあなたがたの行う凡てのことを御存知であられる。
- 5.天と地の大権は、かれの有である。（一切の）事物は、アッラーの御許に帰される。
- 6.かれは夜を昼の中に没入させ、また昼を夜の中に没入なされる。また胸に秘めることを熟知なされる。
- 7.アッラーとその使徒を信じ、かれがあなたがたに継がせられたものの中から、（主の道のために）施しなさい。あなたがたの中で信仰して（財産や技能や労力を）使用する者、かれらには偉大な報奨があろう。